

ハイチにおける大地震に対する 自衛隊の緊急援助活動について

防 衛 省

平成22年1月29日

目 次

- 防衛省・自衛隊の対応について 1
- C-130H輸送機の運用イメージ 2
- ハイチ関係地図 3
- 医療援助隊の様子と
医療援助活動の実績 4、5

防衛省・自衛隊の対応について

日時（日本時間）	内 容
1月14日（木）	外務省、JICAの要員とともに、防衛省からも要員2名（事務官1名、自衛官1名）を現地へ緊急調査チームとして派遣
1月15日（金）	外務大臣から国際緊急援助活動を行う人員等の輸送活動の実施について協議 防衛大臣から準備指示、準備命令を発出 昨年12月27日より訓練のため米国本土に派遣されていたC-130H輸送機の帰国を中止し、ホームステッド米空軍基地（フロリダ州）へ移動させ待機
1月16日（土）	緊急調査チーム、ハイチ共和国へ入国。その後、ポルトープランス飛行場の状況確認・関係機関等との調整開始
1月17日（日）	飛行場の状況等の確認を行い、輸送が可能であると判断されたため、防衛大臣より、C-130H輸送機による国際緊急援助隊医療チーム（JICA）の輸送に関する行動命令を発出
1月18日（月）	外務大臣より、ハイチからホームステッド米空軍基地に戻るC-130H輸送機を用いて、在ハイチ被災民の米国への輸送の支援を行うこと等の国際緊急援助活動について協議があった。これを受けて、防衛大臣が、当該輸送の支援等を行うことについて、行動命令を発出 防衛大臣から状況に応じ追加的な活動を実施するための準備指示等を発出
1月20日（水）	防衛大臣から自衛隊の部隊による医療活動の実施について行動命令を発出
1月21日（木）	自衛隊の医療援助隊（約100名）がチャーター機で日本を出国
1月23日（土）	医療援助隊のうち34名（うち医官2名）がC-130H輸送機によりポルトープランス国際空港に到着後陸路にてレオガンに移動し、医療援助活動を開始。（その後、順次医療援助隊要員がハイチ入り）

C-130H輸送機の活動

(現地時間)

1月17日の任務運航

- マイアミ→ハイチ
国際緊急援助隊医療チームの輸送
- ハイチ→マイアミ
在ハイチ被災民34人の米国への輸送



トラビス

1月15日

マイアミ
(ホームステッド空軍基地)

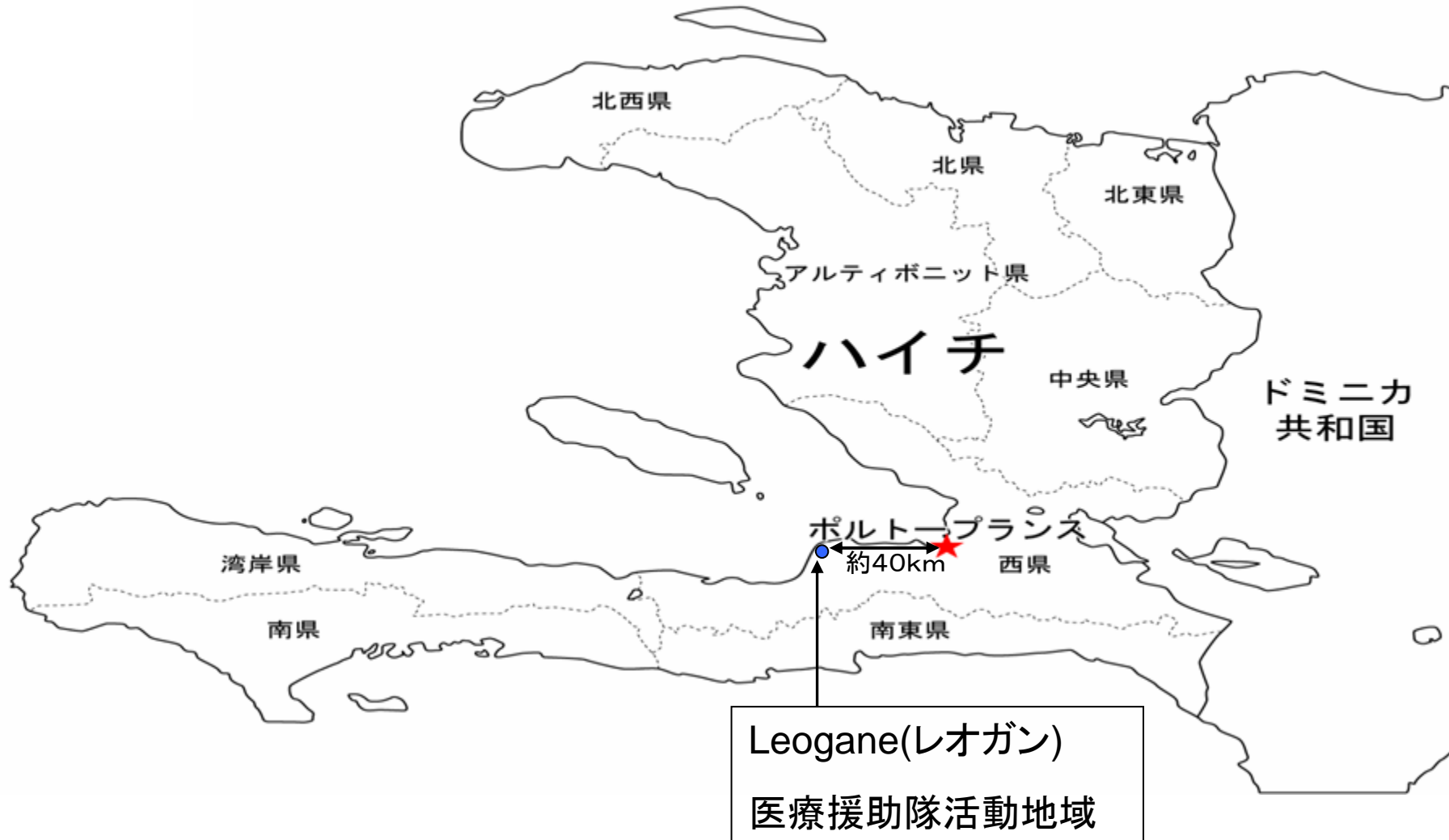
片道: 3時間

ハイチ
(ポルト・プランス飛行場)

1月23日以降の任務運航

- マイアミ→ハイチ
23日、医療援助隊(第1波)34人の輸送
- じ後、順次医療援助隊要員をハイチへ輸送
(27日時点で104人現地入り)

ハイチ関係地図



医療援助隊の様子（日本時間 23日）



医療援助隊
ポルトープランス到着時の様子



レオガンでの子供の診察の様子



レオガンでの自衛隊による診察第1号男性
（左膝靭帯損傷）

医療援助隊の活動実績について
(現地時間27日現在)

日付	1月23日(土)	1月24日(日)	1月25日(月)	1月26日(火)	1月27日(水)
受診者数	20名	28名	47名	66名	82名